

参-6 その他特別なテーマ調査

参6.1 特殊堤植栽調査

参6.2 低水敷埋戻し調査

参6.1 特殊堤植栽調査

目的：低水路内に植栽したツルヨシの生育状況や植生の分布状況、および水生生物群の利用状況を調査する。



工事実施前(上流側から撮影)



工事後(1998.4:下流側から撮影)



(2000年6月5日下流側から撮影)

出典：平成12年度 多自然型川づくりモニタリング調査

参6.1 特殊堤植栽調査

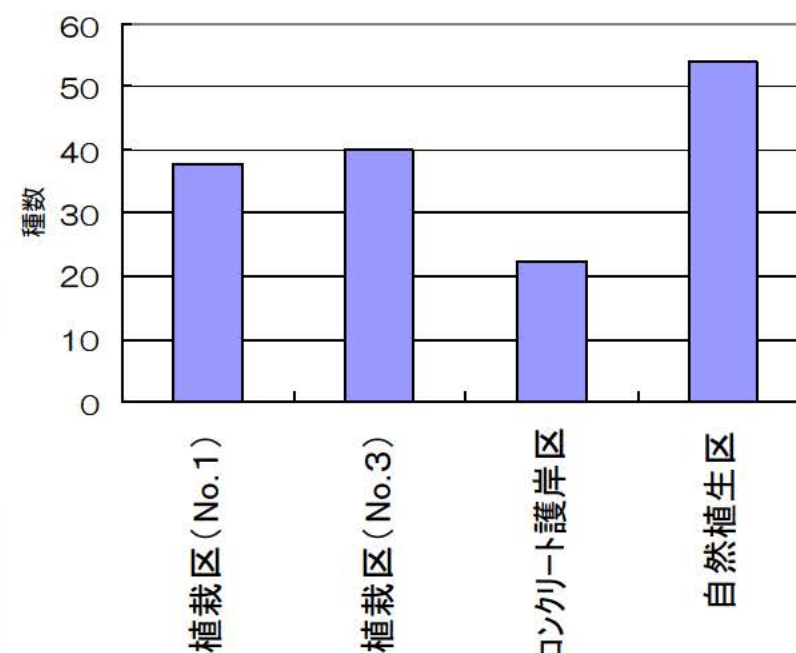
【植生調査結果】

表 確認された群落とその分布			
		植栽区	無植栽区
ツルヨシ群落	典型下位単位	○	○
	ヨモギ下位単位	○	—
ミソソバ群落		○	—
ヤナギタデ群落		○	○
キシウスズメノヒエ群落		○	○
アメリカセンダングサ群落		—	○

○：成立、—：成立せず

無植栽(コンクリート護岸)より植栽すると植生、水生小動物が増えていることが確認できる。

【水生小動物調査結果】



参6.2 低水敷埋戻し調査

目的：河道掘削時に埋戻した砂州上の植生の成立状況を調査し、現況復元・表土利用等の有効性を調査。

1999年5月(工事中)



1999年10月



2000年10月



猪名川3.2～3.8km

1998年3月(工事前)



1999年10月



2000年10月



猪名川3.8～4.2km

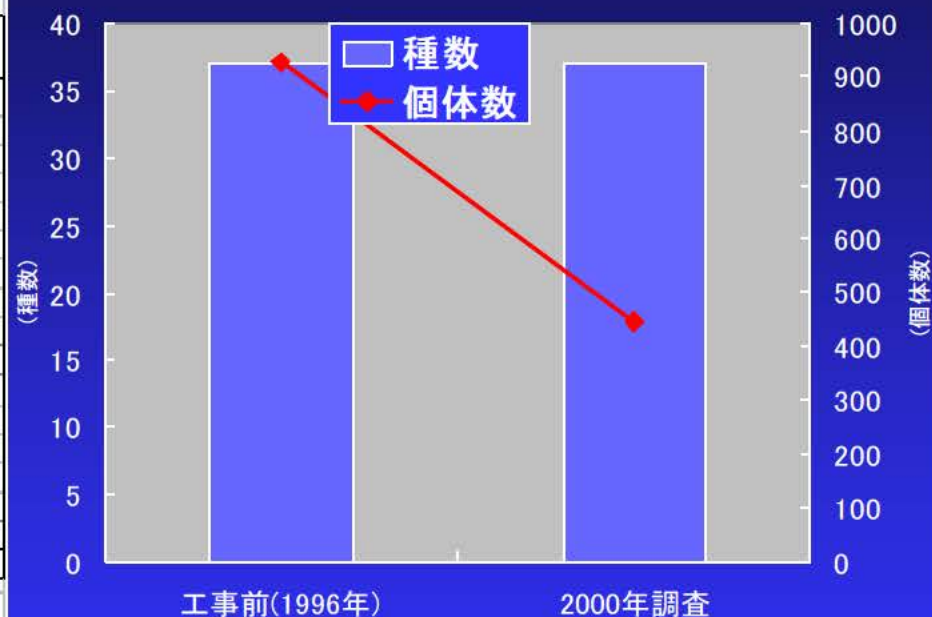
参6.2 低水敷埋戻し調査

【植生調査結果】

			(㎡)	
			1994年度 (工事前)	2000年度 (工事2年後)
自然植生	イネ科常緑 草本群落	オギ群落	—	6724
		セイタカヨシ群落	4530	2119
		ヨシ群落	2553	37
		ツルヨシ群落	—	1511
		メヒシバ—ホソアオゲイトウ群落	—	3054
		ミゾソバ群落	—	382
		ヤナギタデ群落	63	7950
		キシウスズメノヒエ群落	—	87
		砂礫地	—	321
		小 計	7146	22185
代償植生		セイバンモロコシ群落	4897	5134
		オオブタクサ群落	—	759
		セイタカアワダチソウ群落	1125	—
		マント群落(アレチウリ群落、ヤブガラシ群落など)	2579	355
		造成裸地	11452	—
		小 計	20053	6248
		計	27199	28433

注) 埋戻し区域の面積は、増水による流路の変化や流量などにより、年ごとに若干の違いが生じる

【鳥類調査結果】



植生は2年後に自然植生が成立し、鳥類も個体数は減少しているものの、種数の変化が無かったことを確認した。